

2/21
初の笠間市主催養成講習会による
シルバリーハビリティ体操3級指導士誕生！

初めての笠間市主催による6日間の養成講習会を終了し、新たに8名のシルバリーハビリティ体操3級指導士が誕生しました。現在市内では66か所のシルバリーハビリティ教室が開催されており、約120名の2級・3級の指導士さんが活動しています。シルバリーハビリティ体操は、「いつでも・どこでも・ひとりでも」でき、介護予防に役立つ体操です。



3級指導士の皆さん

1/22
西念寺に
茨城県教育委員会感謝状

県指定天然記念物「稲田禪房のお葉付イチョウ」の所有者、宗教法人西念寺に文化財保護活動における茨城県教育委員会感謝状が贈られました。

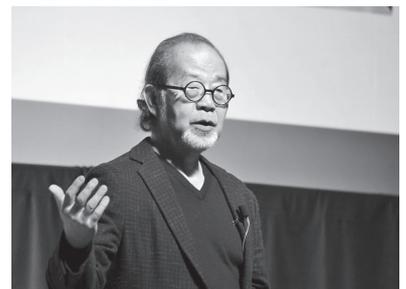
所有者として、天然記念物に対する高い見識を基に、多年にわたり同記念物の保護および活用に尽力したことが評価されました。



西念寺住職 稲田 真葉さんご夫妻

3/8
市民が活躍できるまちを目指して

市では、地域包括ケアを推進し、だれもが健康で活躍できるまちづくりを行っています。(生活支援体制整備事業)今回、地域包括ケアの先駆けと言われている鎌田 實さん(諏訪中央病院名誉院長)による、「市民が活躍できるまちづくり」の講演会が行われました。鎌田先生は、「人生を最後まで自分の力で生き抜くためには、外に出て話すこと」と語り、地域と関わりを持つ大切さについて講演されました。



講演する鎌田實さん

2/20
壁にぶつかったら、
真摯に向き合え

笠間中学校の親子研修として、小葉正男さん(株式会社丸正代表取締役)による講演会が開催されました。

小葉さんは笠間中学校の卒業生で、15歳の時に東京浅草のベルト工場に丁稚奉公し、現在は、革製品を扱う会社を経営されています。

参加者に対し、「常に冒険心、好奇心を旺盛にもって、外向き行動し、今ある幸せを大切にしてください。」と熱く語りかけました。



小葉正男さん

3/12
動物愛護の
活動のために

太陽光発電システムの販売や施工を行っている株式会社エイジー・ジャパンから、寄付をいただきました。

(株)エイジー・ジャパンでは、チャリティーゴルフで集められた寄付を、被災地に送る活動を続けています。寄付金は、ペットの適正飼育の推進のために大切に使用させていただきます。



株エイジー・ジャパンの藤崎さん

まちの話題

3/11 子どもたちの安全・安心のために

子どもたちが元気に、安全に登校できるようにと祈りを込めて、JA常陸から市内の新小学1年生602名に黄色の交通安全帽子が寄贈されました。

この取り組みは、交通ルールに不慣れな新入学児童の交通事故防止を目的に、昭和51年から毎年実施されていて、角田常務理事は「黄色はとても目立つので、子どもの存在をドライバーに知らせることができま

す。」と話されていました。また、ランドセルカバーが笠間地区交通安全協会より、黄色い傘が笠間市交通安全母の会より寄贈されました。



左から、今泉教育長、角田さん

2/21 自動車生産のノウハウを農業の現場に生かす

安心安全にこだわった魅力ある農業に取り組む、笠間アグリビジネスネットワーク協議会の推進大会が開催され、市内の農業関係者60名が参加しました。

今回は、トヨタ自動車(株)アグリパイオ事業部 農業支援室の灘波なんば猛たけしさんが講演を行い、「モノを作るといふ意味では、農業も車も同じ。情報をデータベータ化することで管理を容易にし、作業者の負担軽減や無駄をなくすことに繋げることが重要。」と、効率的な農業の取り組みについて話しました。



灘波 猛さん

3/6~10 エチオピア陸連 ツル会長 来日

3月6日(水)～10日(日)にエチオピア陸上競技連盟のデラルツ・ツル会長が来日し、櫻田オリパラ大臣、鈴木スポーツ庁長官、大井川知事と面会され、8日(金)に笠間市役所を訪問しました。

9日(土)には、市内中学生を対象とした陸上競技教室の特別講師を務めるなど、日本と茨城県、そして笠間市との交流を深めました。

今後も市内中学生を中心としたジュニア選手の強化を目的に、エチオピアとの交流拡大に向けた取り組みを実施していきます。

2/24 建築士への登竜門

日本の建築文化の向上を目的に開催されている「茨城学生建築展」の表彰式が行われました。

第5回を迎えた建築展には、大学、専門学校、高校から総数36点の応募があり、市長賞を始め10作品が選ばれました。



笠間市長賞「Join forces～可能性の力～」(筑波研究学園専門学校)



走りの指導を受ける成瀬くん(友部二中)



表敬訪問された皆さん